

地域の社会課題を 持続可能なサイクルで解決する

早稲田大学 BAM 部

BAM部が行っている活動を紹介



団体について：BAM部（読み方：バンブ）

地方における放置竹林問題の解決を目指すため、竹の英語名（Bamboo）とかけでBAM部という名前で活動を行っている早稲田大学の学生を中心とした学生団体です。様々な大学からメンバーが集まり、現在、50人以上が所属しています。（令和5年5月時点）



活動理念

地域の社会課題を持続可能なサイクルで解決する

私たちは単なる「ボランティアサークル」ではなく、持続可能な社会課題の解決を目指すため、お金の回る仕組みを考えながら地域の社会課題解決に向けた取り組みを行っています。

竹の利活用について

BAM部では、竹林を整備するだけでなく、しっかりと竹の利活用を行うことで需要を創出し、人を動かす、お金を生み出すサイクルを作り出すことが放置竹林問題を持続可能なサイクルで解決することに繋がると考えています。そこで、竹を中心に商品開発や農業、地域創生など様々な活動を展開し、放置竹林問題の解決に繋げようと考えています。

①放置竹林の整備

放置竹林整備の為、間伐を行って竹やたけのこを持続的に生産することができる健全な竹林へ整備を行うか、もともと畑や通路であったような場所については、竹の完全伐採を行うかなど、竹林所有者の方と話し合っ決めながら、活動を行っています。

②農業

伐採した竹から土壌改良材用の竹炭を製作し、BAM部の畑に混ぜて野菜を生産しています。団体として農地を管理していますので、自分たちで栽培作物の決定から土作り、収穫、販売まで農業に関する一連の流れ全てを行っています。



③竹・農産物を活用した商品開発及びその販売

伐採した竹、BAM部で生産している野菜などを活用してオリジナル商品の開発を行っています。開発した商品についてはJAの直売所や、各種イベントなどで販売を行っております。



④地域の賑わい創出

2023年度より埼玉県本庄市のチャレンジサポート補助金を活用し、本庄市での観光客誘致と賑わい創出、放置竹林問題啓発及び竹活用を目的として竹あかりの展示イベントを開催いたしました。3日間の展示で約1,000名の方々に御越しいただくことができ、大変大きな反響を頂くことが出来ました。今後も、不定期でこのような竹あかりイベントの実施を予定しております。



⑤竹工作のワークショップ

子ども達に、「放置竹林問題」という社会課題を知ってもらうきっかけ、竹そのものの良さを知ってもらうきっかけとするために、竹の工作教室を実施しています。

工作教室では竹のおもちゃや竹の箸、食器や竹あかりといった様々なメニューを用意しています。工作教室を通じて放置竹林問題という社会課題があることや、竹の良さを広めることもBAM部の使命であると考えています。



地元との連携例／【埼玉県本庄市】

本庄市の市長へBAM部の活動説明を行い、本庄市とも活動の連携を深めています。現在は商品開発で商工観光課、イベントの出店や農業政策の分野で農政課と連携を行いながら活動を実施しております。

受賞実績／第1回日本学生SDGs大賞 活動大賞

早稲田大学ボランティアプレゼンコンテスト2022 1位 他 多数受賞実績あり

BAM 部

〒367-0222 埼玉県本庄市児玉町田端410

contact@bamboo-waseda.com <https://bamboo-waseda.com/>